

観光施設

2022 紅葉

No.341



京都市提供

日本の観光交流空間を創造する

2022 年 総会セミナーの記録
日本観光の未来を考える
～旅行作家と民泊事業者の視点から～
講師：山口 由美 氏



JAPAN TOURISM FACILITIES ASSOCIATION
公益社団法人 国際観光施設協会

Shiba Park Hotel Rebrand Project

(芝パークホテルリブランドプロジェクト)

今なお江戸の風が吹いているような東京は芝の地。

創業 74 年の古き良きホテルの「Library Hotel」へのリノベーション。

インテリア部会 施設見学グループ 柴田 正己 (アルティ株)



【中央大階段】「過去」「現在」「未来」を表現した1階から2階フロアへと上がる階段を囲うようにして設置された高さ約7mの大書棚。



【1階ライブラリーラウンジ】テーマ「人・街・歴史をつなぐ」。芝パークホテルが誕生し、ともに歩んだ現在までの時間、そしてこれから歩むべき方向を考えるヒントになるような書籍をセレクト。



【2階ホワイエ・Book&Culture】テーマは「普遍的で揺るぎない美」。写真集から小説までオールジャンル。

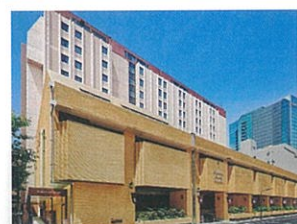
芝パークホテル

所在地：〒105-0011 東京都港区芝公園 1-5-10

Phone：03-3433-4141

創業：1948年（株式会社設立：1949年5月27日）

URL：www.shibaparkhotel.com



本に囲まれた東京のホテル

関東甲信越地方が梅雨入りした2022年6月6日、インテリア部会施設見学グループの見学会・セミナーが、1948年の運営開始以来「おもてなしの心」で国内外からのお客様に評価の高い「芝パークホテル」にて行われました。

今回の改装計画は次の4段階の工程で実行に移されました。2020年11月にエントランス・フロント・ライブラリーラウンジ・ザダイニング。2021年9月に中央大階段・宴会フロア。2021年12月に9階から11階の客室フロア（ジュニアスイート/44㎡×2室・デラックスダブル/32㎡×3室・ダブル/21

㎡×54室・トリプル/21㎡×13室）。2022年4月に6階から8階の客室フロア（ジュニアスイート×3室・デラックスダブル×3室・ツイン×54室・トリプル×12室）。

そして、従来の心地良さに加え、日本文化を中心とした書籍コレクション（銀座蔦屋書店ディレクションによる約1500冊もの書籍）を所蔵する「人・街・歴史をつなぐLibrary Hotel」としてリブランドされました。

ホテルの歴史

セミナーでは田中総支配人様よりホテルの歴史の話がありました。

1947年に共立薬科大学女子寄宿舎（1933年竣工）をGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）が接收し、将校宿舎として使用されたそうです。1948年には貿易庁の管理の下、外国貿易使節団ホテルとして「芝パークホテル」の運営が始まり、翌1949年5月に貿易庁の管理を離れ、民営化。株式会社芝パークホテルが設立されました。当初は100%外国人の利用する施設であったとの説明がありました。

リブランドのポイント

今回のリブランドのポイントは「ハード」と「ソフト」のリニューアルを同時に行ったことでした。with コロナ、after コロナを考えた時、ホテルの価値をいかに上げていくかの方向性が議論されたとのことでした。

1) お客様の旅の1つの目的地にならないか⇒主題として検討



before



after

2) どのようなお客様に来て頂きたいか⇒これからのコアターゲットである「女性に好まれる施設でありたい」

3) ホテルの新しい価値をどのように伝えるか⇒ホテルの自主企画の新たな立ち上げ

全体的なコンセプトはこのような表現となります。「人をもてなす道を究める」集団が、「小さくとも良いホテル」を運営する為に「おもてなしの心」でサービススタンダードを確立し、「Library」で表現するリノベーションを計画、実行致しました。

デザインコンセプト

最後にインテリアデザインを担当されたGRID DESIGN 飯野様より今回のプロジェクトのデザインコンセプト「TIME LESS QUALITY」の説明を頂きました。ホテルの「おもてなしの心」を大切に、時代に左右されない本質を極めたデザインクオリティの実現という考え方で「ゲストの記憶に残る居心地の良さを感じる、また来たくなるホテル」を目指されたとのことのお話を頂いて、セミナーが終了いたしました。



田中総支配人様



GRID DESIGN 飯野様